

令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立相生小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- (現2年) 意欲的に運動に取り組むことができる児童が多い。学習カードで簡単な振り返りの仕方を少しずつ身に付けてきている。
- (現3年) 学習カード等で運動のポイントを確認することで、互いの技能を高め合ったりチームプレイを向上させたりするために、声を掛け合って学習に取り組むことができた。
- (現4年) 学習カードを使って、振り返ることで、ポイントを押さえる児童が増えてきた。チームの課題に応じた練習を行うことで、意欲的に学習に取り組む姿が増えてきた。
- (現5年) 学習カードを活用して、自己の成長の高まりを感じられた。良い動きを全体で共有し、称賛することで学習の意欲を高めることができた。また、友達と互いにアドバイスし合う姿が増えてきた。
- (現6年) 振り返りカードの活用により、児童一人一人が自分の課題を意識し、学習に取り組むことができた。

(2) 課題

- (現2年) 技能面の個人差が大きい。学習カードは、文章での記述が難しい児童もおり、選択する形式を取り入れるなどカードの工夫をしたり、記入の回数を見直したりするなどの措置が必要である。
- (現3年) 技能面の個人差が大きい。技能を習得し、試行錯誤しながらより良いプレーをしようとする力を身に付ける必要がある。
- (現4年) チーム内での苦手な子に対してすすんで取り組ませる工夫、手立てが必要である。
- (現5年) 技能面の個人差が大きい。「知る」段階で、事前に動画などで活用して技のイメージをもたせる必要がある。
- (現6年) 単元によって、運動の特性に応じた技能面の個人差が大きい。正しく理解させるための手立てが必要である。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動の行い方や運動遊びのルールなどを図や資料で示して、確実に理解をさせる。 ・運動遊びの楽しさに触れさせるよう遊び方のルールや場づくりを工夫する。	・簡単な遊び方の工夫を考えさせたり、遊び方の例を示し、選ばせたりする。 ・友達のよい動きを擬態語や擬声語で表現したり、学習カードに書いたりさせる。	・運動遊びの楽しさを味わわせられるようなルール作り、場作りを行う。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基本的な動きや技能を身に付けるために、スモールステップで、段階を追って発展させていく。	・児童が自己の課題に適した運動の行い方や場を選ぶことができるようにする。 ・シェアタイムで、気付いたことや考えたことを伝え合う。	・運動の楽しさを味わわせ、誰とでも仲良く運動するよさを感じさせ、主体的に運動に取り組ませる。 ・振り返り（シェアタイム）の時間などで、他者と学習の成果を認め合うようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・スキルアップタイム（授業の前半）で、主運動に繋がる基本動作を確認させ、実践していく。 ・見本の動画や特性の動きのポイントを事前に確認したりして、正しい動きをイメージさせ、理解させていく。 ・グループ活動での教え合いや、スモールステップでの活動を通して、運動の特性に応じた基本的な技能が身に付けられるようにしていく。	・学習内容に応じためあてを明確にもたせ、自己の能力に適した課題解決の仕方や運動を工夫できるように、自己に適した場所を選べるようにする。 ・タブレットを活用して、自分の動きを確認したり、友達と動きを見合ったりする活動を取り入れる。 ・同じ課題の児童同士で学習に取り組ませ、互いに見合うポイントをグループで確かめ合い、そのことについて伝え合う場を設ける。また、自分の考えや仲間の考えを他者に伝えることで、他者の考えを理解し、自己の考えを深められるようにする。	・学習カードを活用し、毎時間の自分の成長を実感させるとともに、学習の見通しをもたせられるようにする。 ・シェアタイムで児童同士が励まし合い、認め合う場面を設定し、運動する意欲を高められるようにする。 ・互いに協力したり助け合ったりする活動を通して、仲間への信頼感を高め、互いの関係をより良くしていくことに繋げる。